

剣道称号「錬士」審査会要項

全日本剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和元年11月30日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成22年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段位審査規則第11条2項による特例）。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文を添え、各市区郡剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（11月24日）とする。

3. 各市区郡剣道連盟の推薦

- (1) 申込者が提出した、錬士受審申請書と小論文を受理する。

小論文の内容

- ①課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道修業について述べなさい。
- ②字数 400字以上800字以内。
- ③用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- ④提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を標記し封印したもの。

- (2) 各市区郡剣道連盟会長は、申込者が規則第10条第1号の付与基準に該当し、かつ、実施要項の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認めた場合、宮城県剣道連盟会長に候補者として推薦する。なお、規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選のこと。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて宮城県剣道連盟に送付する。

4. 申込締切 各市郡剣連が定めた日

- (1) 申込先 各市郡剣連事務局
- (2) 審査料 錬士 10,700円（手数料 3,000円込み）

5. 審査方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会における審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

6. 審査会期日 令和2年11月24日(火)

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和3年1月号および全剣連ホームページ

(<http://www.kendo.or.jp/>) に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

※以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

